



令和4年度グリーンボンドを発行します

福岡市は、脱炭素社会の実現に向け、「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」のチャレンジを掲げ、省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの利用拡大など、様々な取り組みを進めています。

それらの取り組みを資金調達の面から促進するため、令和4年1月に、本市初となるグリーンボンド(50億円)を発行し、多数の投資家の皆様から共感をいただき、多くの需要を集めることができました。

今年度も、グリーンボンド(90億円)を発行します。グリーンボンドの発行を契機として、市民、事業者、金融機関など様々な主体とのパートナーシップによる脱炭素社会の実現に向けた取り組みを、引き続き推進してまいります。 ※グリーンボンド：環境改善効果等がある事業に限定して発行する債券

| 令和4年度福岡市グリーンボンドの概要 | |
|--------------------|--------------------------------|
| 銘 柄 | 福岡市 2022年度第8回公募公債（グリーンボンド・10年） |
| 発 行 額 | 90億円 |
| 年 限 | 10年（満期一括償還） |
| 条件決定日 | 令和5年1月27日（金）（予定） |
| 利 率 | 未定 |
| 購 入 対 象 | 機関投資家 |

【参考】グリーンボンド適合認証の概要

福岡市では、グリーンボンドの発行に際して、対象プロジェクトや資金管理の方法等について、「福岡市グリーンボンド・フレームワーク」を定めています。このフレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則 2021」及び「環境省グリーンボンドガイドライン 2020年版」に適合していることについて、第三者機関（株式会社格付投資情報センター（R&I））の認証を受けています。

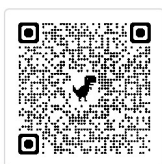
<福岡市グリーンボンド対象プロジェクト>

| 分類 | 対象プロジェクト |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 再生可能エネルギー | 市有施設への再生可能エネルギー設備導入 |
| 省エネルギー | 市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入 |
| 汚染の防止と管理 | ごみ処理施設整備、下水道施設整備 |
| 自然資源・土地利用の持続可能な管理 / 生物多様性保全 | 公園整備 |
| クリーンな輸送 | 地下鉄事業 |
| 持続可能な水資源管理 | 水道事業 |
| 気候変動への適応 | 水害対策事業、道路整備（緊急輸送道路整備や排水性・透水性舗装） |
| グリーンビルディング | 市有施設の新築、改修 |

充当事業（予定）

| | 分類 | 事業名 | 環境面での便益 |
|---|-------------------------|--|---|
| 1 | 省エネルギー | 市有施設への省エネ性能の高い機器の導入 ■ 特別教室空調設備導入 ■ 水処理センター、ポンプ場の改築更新 ■ 市民センター施設整備事業 他 | 環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減） |
| 2 | グリーンビルディング | 市有施設の新築、改修 ■ 福岡市舞鶴庁舎新築 | 環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）  ▲福岡市舞鶴庁舎イメージ  |
| 3 | 汚染の防止と管理 | 下水道施設整備 ■ 未整備区域の解消 ■ 合流式下水道の改善 | 環境負荷の低減（環境汚染物質排出削減）  ▲合流式下水道の改善（分流化のイメージ） |
| 4 | 自然資源・土地利用の持続可能な管理/生物多様性 | 公園整備 ■ 緑地保全事業 ■ 緑化推進事業 ■ 都市公園事業 | 環境負荷の低減（温室効果ガスの吸収） |
| 5 | クリーンな輸送 | 地下鉄事業 ■ 営業線改良事業（車両新造） ■ 七隈線延伸事業 | 環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）  |
| 6 | 持続可能な水資源管理 | 水道事業 ■ 配水施設整備 | 安定的な飲用水の供給 |
| 7 | 気候変動への適応 | 水害対策事業 ■ 浸水対策 | 浸水災害など発生時の浸水被害の軽減  ▲雨水排水施設の整備イメージ |

「グリーンボンド」に関する情報は福岡市ホームページに掲載しています。（二次元コードまたは「福岡市グリーンボンド」で検索）



【問い合わせ先】

財政局財政部総務資金課 吉村
 TEL : 092-711-4162（内線 1502）